

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年6月12日  
学校法人ニューライフ学園  
報告者 角和麻衣子

## 1. 本園の教育目標

- ① 豊かな自然環境の下、遊びを中心とした主体的な創造活動（体験）を通して、子どもが生涯にわたる幸福に向かうための基礎能力（コンピテンシー）を育む。
- ② 子どもを取り巻く環境としての、家庭・教員・地域住民（市民）たちが生涯にわたって、発達（進化）をとげて行くための機会を共創する。

上記2つの使命を果たすため、以下のカテゴリーからアプローチしています。

【3つのアプローチ】 1. 社会貢献 2. 教育の研究 3. 人を創る

## 1-2. 具体的な保育指針

- ① 多様な体験の中で子どもの主体性と創造性を育むこと
- ② 個を育成し、社会適応を促すことを目指す
  - ・伝統ある探究活動（自由保育）
  - ・子どもに優しい環境・施設
  - ・科学的根拠のある教育支援

## 2. 三ヵ年計画

2023年	① 創立70周年記念祝賀会 ② (①にあたり) 絵本の創作 ③ 新しい制度（令和5年度こども家庭庁発足）に即した園運営（2年目） ④ 施設型給付園への移行（2024年度から） ⑤ 会議の確立_OODA（観察→状況判断→意思決定→行動と改善） ⑥ 子どもの主体性を育む保育スキルの言語指標の活用/保育実践の可視化（言語・視覚データ（映像）） ⑦ 要配慮児を包摂する保育実践と対処方法データ（記録_言語・視覚データ（映像））の蓄積・活用 ⑧ 「お子さんの強みを活かす会」の継続 ※科研費研究，作新学院大学，3年目 ⑨ 2歳児保育の研究
2024年	① 施設型給付園へ移行 / 国際バカロレア教育機構申請について：2023年度の内容で継続 ② 目指す教員像の言語化 ③ 保育の質の向上（クラス保育/要配慮児支援/保護者支援/各言語化・データ化）：継続
2025年	① 施設型給付園へ移行（2年目） / 国際バカロレア教育機構申請について：検討の継続 ② 保育の質の向上（クラス保育/要配慮児支援/保護者支援/各言語化・データ化）：継続

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育の質向上のための、園内研修及び会議の充実等	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法について教員にとって役立つ法知識の園内研修（オンデマンド1回）</li> <li>・配慮の必要な子どもに関する研修（巡回）</li> <li>・放課後預かり保育に関する園内会議の充実と研究（カリキュラム、保育、及び手順の言語化）</li> </ul>
2	2歳児・満3歳児保育の実践と研究	A	満3歳児保育を開設，1年目の実践を経験しデータ化し蓄積した。
3	新制度移行に関する調査・検討	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度移行に関する調査を行った</li> <li>・新制度移行と国際バカロレア教育申請に関する相談と協議を横浜市と行った</li> </ul>
4	学校評価（保護者・教職員）	公表	・保護者への学校評価アンケート調査を実施し，HP上で公開（数値および本報告書）した。
5	園内ペアレントトレーニング制度の確立 ※科研費研究，作新学院大学，2年目	A	2023年6月に国際認知行動療法学会(WCCBT2023)で「お子さんの強みを活かす会」の活動内容を発表し，多くの支持を得た。

### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	4つの評価項目について重点的に取り組んだ結果，①放課後預かり保育での子どもの生活の充実を図ることができた，②満3歳児保育の土台構築ができた，③学校評価（保護者及び教職員対象）を実施することで保育の質の向上へ具体的な対策を検討することができた，④少子化の影響を踏まえ2024年度より施設型給付園への移行を決めた。

### 5. 2023年度に取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育現場で完成させた保育スキル項目について信頼性と効果を検証しエビデンスを得る	2023年8月に論文再投稿予定
2	新制度移行に関する調査・検討	2024年度より施設型給付園へ移行
3	国際バカロレア教育機構申請に関する調査・検討	継続
4	学校評価	継続

※6. 学校関係者評価委員会の評価：2023年6月理事会で行う予定

## 7. 保護者アンケートにおけるご質問への回答

	質問（概要）	回答者：角和麻衣子 ※6月12日現在回答できるもののみとなります、ご了承ください
1	特別教育研究費 5200円について	<p>※重要事項説明書参照  <u>おおよそ「人件費」でございます。</u></p> <p>当園は「私学助成制度」に則って教育活動を行っていますが、現在日本では「私学助成制度」の他に「新制度」がスタートしています。そのため、無償化給付金の他に、保護者様にご負担いただく納付金が、園によって異なる状況にあり、それに準じる教育活動の内容も多様化しています。当園は専任制（保育担任、預かり保育、学童、要配慮児支援）でお子様をお預かりさせていただいています。教員各人が教育時間・保育時間の他に、研修や教育研究に費やす時間を確保し、専門性をもって幼児教育に従事できるよう、人員配置を行っています。</p> <p>これらより、施設等利用給付金（無償化給付金）のみでは賄えない経費を「特別教育研究費」としてご納付いただいています。<u>「教員の日々の研磨のための時間捻出にかかる人件費」</u>とご理解ください。共同研究にかかる経費は文科省科研費等を利用していますので皆様にご負担いただくことはございません。毎年、<u>公正な会計監査を経て5月末に決算を理事会で行っています。詳細なご質問等ございます場合は個別にご連絡下さい。</u></p>
2	放課後の習い事について	<p>放課後の習い事について、ご要望いただいております。昨年度より私たちも日々多くの情報を得てまいりました。そのなかから、<u>当園の保育実践に適した内容のプログラムを慎重に選択して参ります。追って皆様からもご意見を頂戴したいと思います</u>ので宜しくお願いします。</p>
3	給食室の設置とそれに伴う企画について	<p>給食の提供について、ご要望をいただいております。昨年は具体的に設置した場合のシミュレーションと、設置することで広がる可能性を企業様よりご提案いただき、検討・検証して参りました。その結果、<u>給食室の設置は当分見送ることとなりました。ただ、今後条件が揃い、給食室を設置することになったとしても、ニューライフ幼稚園創業からの教育理念（子どもの主体性・創造性を遊びの中で育む）が損なわれることはございません。</u></p>

上記以外にも多くのご意見・ご要望を頂きました。真摯に受け止め、教職員全員で検討して参ります。また、私たちにとって日ごろの励みともなる様な嬉しいお言葉、感謝のお言葉、ポジティブなご提案も沢山頂きました。令和5年度より子ども庁がスタートし、国をあげての子育て支援・就労支援策により「保育所志向」が強まっています。新しい教育の流れにうまく適応しつつ、これからも変わらず、当園が伝統的に持つ教育理念である「子どもの主体性・創造性を遊びの中で育む」ことを大切にして、精進して参ります。引き続き宜しくお願い申し上げます。（ご意見・ご質問\_045-402-8539（角和麻衣子直通））